

「子ども版日本語日常会話コーパス」 モニター版 利用規約【オンライン公開】

本利用規約は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構（以下「人文機構」という。）が所有するデータ集「子ども版日本語日常会話コーパス」モニター版（以下「子ども版日常会話コーパス」という。）のオンライン公開（以下「本サービス」という。）をご利用いただく際の条件として規定するものです。この利用規約は、本サービスのすべての利用者に適用され、利用者はこの利用規約の内容に同意することなく本サービスを利用することはできません。

（著作権の帰属）

第1条 「子ども版日常会話コーパス」の著作権は人文機構に帰属します。

（利用概要の届出）

第2条 利用者には、本サービスの利用目的、利用範囲等の必要事項を申込フォームにより記入し、本サービスの利用概要の届出をしていただきます。

2 利用者は申込フォームに記入した内容に変更が生じる場合、遅滞なくこれを人文機構に報告するものとします。

（許諾の範囲）

第3条 本契約に基づき、人文機構が利用者に本サービスの利用を許諾する範囲は、以下の通りとします。

利用目的：研究教育目的で、申込フォームに記入された内容とします。

2 利用者は、本サービスの利用に際して、以下に定める行為を行ってはなりません。

- (1) 「子ども版日常会話コーパス」のデータ（以下「本データ」という。）の全部又は一部を複製すること。
- (2) 語句検索の目的を超えて本データの全体又は大部分をダウンロードすること。
- (3) 前項に定める範囲を超えて利用し、人文機構又は第三者の著作権を侵害すること。
- (4) 第三者に本サービスを利用させること。
- (5) 本データを利用して第三者の名誉等を毀損し、あるいはその他の権利を侵害すること。
- (6) 人文機構が予め伏字・仮名かめいにした情報を復元・公表すること。
- (7) 本データに記録された話者情報以外の話者に関する情報を公開すること。
- (8) 本データに含まれる発話について、事実関係の正誤や思想、生活スタイルなどの適否等、発話や行動の内容に関する議論、批判、感想等を公開すること。
- (9) 前各号のほか、本契約で明示的に許諾された目的及び範囲を超えて本サービスを利用すること。

（研究成果の公表）

第4条 利用者は、研究目的に限り、第3条第2項に反しない限度で「子ども版日常会話コーパス」を利用して得られた研究成果や知見を公表することができます。これらの公表については、解析データ

や処理プログラムの公表を含みます。利用者は、公表に当たっては、「子ども版日常会話コーパス」による成果であることを明らかにするとともに、人文機構が行う「子ども版日常会話コーパス」による成果の有無に関する照会に対して回答するものとします。

(対価)

第5条 本サービスの利用に係る料金は、無償とします。

(利用期間)

第6条 本サービスの利用は「子ども版日本語日常会話コーパス」の本公開までとします。なおコーパスの本公開は2027年3月を予定しています。

(免責)

第7条 本サービスを利用することによって生じる損害については、人文機構は一切の責任を負いません。

2 人文機構は、本サービスの仕様を予告なく変更することがあります。また、本サービスを停止することがあります。

(契約の解除)

第8条 利用者が本契約に違反したことが判明した場合、人文機構は利用者に通知することにより本契約を解除することができます。本条の規定は、人文機構から利用者への損害賠償請求を妨げるものではありません。

(管轄裁判所)

第9条 本契約に関する一切の訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。また、本契約にかかわる解釈は日本国の法律に従うこととします。

附 則

本規約は、令和7年3月28日から適用します。